



令和5年は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、学校においてもさまざまな活動が再開・活性化された年になりました。時間や場を対面で共有し、チームで活動することの楽しさや可能性を体感できた1年だったと思います。また目標実現を目指す過程で経験した苦労も、きっと皆さんの力になっていると思います。ニュースでは激戦地域の様子が日々伝えられ、何かできることはないかと考えます。また生成AIの普及など、社会や生活の有り様も引き続き大きく変化しています。社会に目を向け、学びを繋げていくことが私たちに求められています。

今年の冬休みは、曜日の巡りもあり、例年よりもまとまった日数になっています。1年の疲れを癒やして英気を養いながら、各自で課題意識をもって冬休みを過ごし、新年・3学期を迎えましょう。3年生は、体調に気を付けて、進路実現に向けてのラストスパートをかけてください。



総合的な探究の時間 探究発表会 12月19日

12月19日(火)5~7限目に総合的な探究の時間の探究発表会を行いました。2年生が発表者、1年生が聴き手として参加しました。

2年生は38班に分かれ、設定した課題について、情報収集や分析・検証等を通してその解決に取り組み、考察や方策をポスター発表という形で伝えました。今年度は、「地域創生」をテーマに、地域の課題発見・解決を目指して、探究活動に取り組んできました。発表は、全38班をAグループ、Bグループの2つに分けて、交互に2回ずつ4つのタームで行いました。「新宮市への観光客を増やすにはどうすればよいか」「地震で建物が倒壊したときに命を守るにはどうしたらよいか」「どうすれば地域の祭りを盛り上げられるのか」「多様性の時代に合った校則を実現するにはどうすればよいか」「地域経済を活性化させるにはどうすればよいか」など、多岐にわたるテーマで探究学習を続け、発表時には、クイズを用いたり、実物を提示したりするなど工夫が凝らされていました。



◆◆12月のくまの学彩◆◆

ユネスコ講演会 12月15日

12月15日(金)の1学年「くまの学彩」は、新宮ユネスコ協会会長の中谷剛先生より「ユネスコ講演」をしていただきました。ユネスコを柱とし、新宮ユネスコ協会の活動・世界遺産・熊野古道について、現代社会の諸課題と関連させながら、話していただきました。生徒たちの真剣な表情が印象に残る講演でした。今回の「くまの学彩」も、来年度の探究学習につながるものになりました。



2学期終業式 12月22日

12月22日(金)の授業・一斉清掃終了後に、2学期終業式を体育館で行いました。県民歌斉唱、校歌斉唱に続いて、深野校長が式辞を述べました。「2学期は、彩雲祭をはじめとする学校行事や校内外の諸活動に皆さんが切磋琢磨して取り組む姿を見てきました。『チームの中での活動や学習』には失敗や苦しいこともあったと思いますが、それは皆さんの視野を広げ、成長に繋がっているはずですので、次はどう生かしていくかが大切です。これから1年生は進路に向けた基礎を固めていく時期です。2年生は、学習方法を再点検し、将来の進路目標を真剣に考える時期になります。3年生は進路実現に向けて、これまでやってきたことを信じ、継続して取り組んでください。新年には、自分の殻を突き破るような思い切った目標を立てるなどして、自身の成長を図ってください。」と語られました。また終業式に先だち行われた各種表彰式では、8月以降に顕著な成果を収めた生徒の皆さんの表彰を行いました。終業式後には、生徒支援部副部長から冬休みの諸注意もありました。1月8日までの冬休み、体調には気を付けて年末年始を過ごし、気持ちも新たに3学期を迎えてください。

